

2018年3月1日

今後も安全・安心にご利用いただけるよう整備を推進してまいります

4月21日(土)より、 東上線 池袋駅にてホームドアの使用を開始します！

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、4月21日（土）より、東上線 池袋駅ホーム（1番ホーム）にて、ホームドアの使用を開始します。

ホームドアは、ホームでの安全性およびバリアフリー化の向上を目的に設置するもので、当社としては東武アーバンパークライン 船橋駅、柏駅、東上線 和光市駅、川越駅に続き5駅目の導入となります。

このたびのホームドアは、国土交通省、東京都、豊島区および当社が協力して整備を行っており、現在はホームドア本体の設置工事に向け、準備を鋭意進めています。

なお、当社では現在、東上線 川越駅において3月17日（土）の使用開始に向けホームドアの整備を進めているほか、2020年度末までに新たに6駅（池袋駅を除く）、2021年度以降も特に一日の利用者数が多い区間および駅（すでに設置済みの駅を含め、合計40駅）にホームドアを設置する予定です。今後も、お客さまにより安全に安心して駅ホームをご利用いただけるよう、整備を推進してまいります。

詳細は、以下のとおりです。

1 設置箇所

東上線 池袋駅ホーム（1番ホーム）

※そのほかのホームについても、今後順次整備を推進してまいります。

2 使用開始日（予定）

2018年4月21日（土）初列車より

※使用開始日は、都合により変更となる場合があります。

※設置工事は2018年3月11日（日）より行います。

3 ホームドアの開口数

40口 ※10両編成車両対応（ドア数40 1両4ドア×10両）



△ 池袋駅ホーム ホームドア設置イメージ

以上

ホームドアの整備計画について

